

急速に広がる保育園の芝生化

緑の芝生 広がる鳥取方式。

【下】



芝の苗を植え付ける園児や保護者＝昨年6月、鳥取市上味野の美和保育園

子どもたちがはだしで走り回る環境をつくらうと、2007年から10年までの4年間で鳥取市内の19保育園が園庭を芝生化した。

■芝も草の一種

芝生化は、スポーツ振興や子どもの健全育成に取り組み鳥取市桂見のNPO法人「グリーンスポーツ鳥取」(GST、ニール・スミス代表)の「鳥取方式」(商標取得済み)を採用。県や市などと技術指導提携の下、芝の植え付けや維

楽しく気持ちよく みんなで遊び 土踏まず形成

持管理の指導を行っている。

鳥取方式とは、芝も草の一種と考え、雑草を抜いたり除草剤をまいたりせず、一緒に刈り込む。芝は成長・回復の早い品種ティフトンを採用。面積や利用状況に応じてポット苗を植え付ける▽ロール状の芝を敷き詰めるなどの方法がある。自然に生える野草を刈り込んで空き地や河川敷を芝生化する場合もある。

維持管理は煩雑な芝刈り、水やり、施肥の三つが基本。施工も維持管理も必要以上の作業は行わず、低コストの芝生化が可能に。転んでも痛くない芝生の上で、利用者全員が楽しく気持ちよく遊べるのがメリツトだ。GSTが取り組んでいる鳥取方式は今年8月に商標登録された。

日本サッカー協会も2年前から実施するなど全国に広まり、03年から09年まで

の7年間で600カ所以上、面積になると100万平方メートルに上る。

■効果を期待

鳥取市児童家庭課は、芝生化の効果を検証しようとして、市内8園の5歳児の足の裏に「土踏まず」が形成されているかを調査。芝生化して4年目の保育園では「土踏まずがある」が93%で、芝生化していない保育園の58%を大きく上回った。

土踏まずができないと直立時に体のバランスが不安定になり、運動能力にも影響する。土踏まずの形成は、幼児期にしっかり運動しているかどうかを鍵を握る。

保護者アンケートでも、外遊びが好きになった、体力がついた、家をよく話すようになったなど、73%の保護者が満足している。調査を行った市児童家庭課は「芝生化は予想もつか

ない効果や、子どもの心身両面の健全な成長が期待できる」とし、5年後には8割の保育園を芝生化したいと意欲を示す。

■すくすく育つ

民間でも「鳥取方式」の芝生化の動きが進んでいる。鳥取青年会議所(鳥取JC)は昨年、GSTの協力で、鳥取市内の久松公園を芝生化。2、3日には、県や市などと連携し、鳥取市布勢のコカ・コラウエストスポーツパークで全国大会を開催する。

鳥取JC因幡総芝生化特別委員会委員長の高藤大祐さんは「今の日本社会は子どもがすくすく育つ環境にない。芝生が子どもに与える影響は大きく、芝生で育った子どもが増えれば未来の日本は変わってくる」と話す。

◇この企画は本社・川田美帆が担当しました。

きょうから鳥取で全国大会

「全国大会・いっぽん芝生化大作戦 in とっとり」は2、3の両日、鳥取市布勢のコカ・コラウエストスポーツパークで開催。初日にグリ

ーンスポーツ鳥取による芝生化勉強会、3日午後1時半からコカ・コラ体育サプアリーナでシンポジウムとして川淵三郎日本サッカー協会キヤプテン、平井伸治県知事の記念対談も行われる。